

知る人ぞ知るくだけた口語英語 前編

—子ども言葉が一般化した表現 to cry uncle と See you later, alligator.—

大西 博人

1. はじめに

日常ごく一般的に用いられている口語英語には、比喩表現や文化的背景をもつ慣用表現があります。その中には日本人の英語学習者にはあまり知られていない表現もあります。

本稿ではそのようないわゆる「知る人ぞ知る」口語英語として、子ども言葉に由来する2つの表現を取り上げたいと思います。1つは子どものふざけ合いから生まれた表現、Say uncle! Cry uncle! で、もう1つは親しみを込めた子どもとの別れ際の挨拶、See you later, alligator. です。これらを用例とともにご紹介します。

2. 「降参」を表す Say uncle! Cry uncle! 「参ったと言え！」

英語表現で uncle が登場する、興味深い“Say uncle!”や“Cry uncle!”という表現があります。牧野(2022: 159)は、この言葉の語源と意味を次のように説明しています。

たとえば、子ども同士が取っ組み合いなどをしていて、組み伏せているほうの子どもが“Cry uncle!”(おじさんと叫べ!)→「参ったと言え！」と言い、相手が降参するときは“Uncle! Uncle!”(おじさん!おじさん!)→「参った!参った!」と言います。なぜ cry uncle が「参ったと言う、降参する」を意味するようになったかという点、実は uncle はアイルランド語で「保護、救出、安全」を意味する“anacol”が語源です。それが英語に入ったときに、発音が似ているため、uncle と綴られるようになったそうです。主に子どもが発する言葉ですが、比喩として成人が使うこともあります。

この表現は子ども同士の取っ組み合いで用いられていましたが、困難で勝ち目のない状況の相手に抵抗を止め敗北を認めるように促す、くだけた比喩表現として成人一般の間でも用いられるようになっていきます。特に政治経済の分野で、ごく普通の動詞句としてよく用いられています。

2-1 子ども同士の取っ組み合いで、相手に「参ったか?」と迫る間投詞

この間投詞 uncle は、以下の用例に見るように、頻度は多くないとしても、現在でも子ども同士の取っ組み合いのけんかなどで発されているようにも思えます。

【1】小説の主人公が15歳の時、友人 Dave とレスリング遊びをしていたことを回想する場面

I had his arms and neck pinned back in a kind of full nelson. I kept saying ‘Uncle? Uncle?’ hoping he’d give up. But the tough guy wouldn’t budge. I kept pushing harder, watching him grow redder in the face. I thought if I pushed any more, I would kill him. Finally Dave cried out, ‘Okay, uncle ...’ and I let him go. — James Patterson & Andrew Gross, *Life-guard*, Headline Book 2006, pp. 433-434

僕はダイブの両腕と首をフルネルソン技で押さえつけ、彼が降参するのを期待して、「参ったか?参ったか?」と言い続けた。だが頑固な男は決して屈しようとしなかった。僕は彼をさらに激しく押しつけ、彼の顔がますます赤くなるのをじっと見ていた。さらにもっと押しつけると、彼を殺してしまうのではと思ったぐらいだった。とうとうダイブは「分かったよ、参った…」と叫んだので、放してやった。

2-2 「降参」を表す表現として一般化した Say uncle! Cry uncle!

この表現 Say uncle! Cry uncle! は、メディア英語では「降参する」という成句 cry uncle としてごく普通に用いられています。

【2】ニカラグアのマルクス・レーニン主義のサンドニスタ政権に対するレーガン大統領の見解

The Administration would not seek to overthrow the Sandinistas, he explained, if they agreed to “say Uncle” and put in place a more pluralistic form of government that would include the contra rebels who have been fighting the Marxist-Leninist regime. — *Time*, March 4, 1985, p. 16

もしサンドニスタ政権が我々の要求に「屈服し」、マルクス・レーニン主義政権と戦ってきた反政府勢力コントラを含む複数の党派からなる政権を樹立することに同意するなら、当政権はサンドニスタ政権を転覆させることを目指さないであろう、とレーガン大統領は説明しました。

【3】次々と新車モデルで埋め尽くされている SUV 車種の販売店のショールーム

America is being flooded with boxes on wheels — and the tide shows no sign of letting up. But as another auto show is about to bring even more sport-utility vehicle choices to showrooms, it raises questions: How many SUV models are too many before consumers **cry uncle** and dealer lots become overloaded? And are we close to reaching a peak? — *usatoday.com*, March 28, 2018

アメリカは車輪のついた箱で溢れていて、その潮流は収まる兆しはありません。しかし、もうすぐ開催される別のオートショーで、さらにより多くのスポーツ用多目的車(SUV)の選択肢がショールームに並ぶにつれて、1つの疑問が浮かび上がります。つまり消費者がもうたくさんだと音を上げ、販売店の敷地が過剰在庫で溢れる前に、SUV モデルは一体どれほど増えれば限界に達するというのだろうか。それにしても我々はピークに近づいているのだろうか。

【4】米中二国間貿易交渉で中国の主張に屈服する可能性のあるトランプ大統領

One U.S. source close to the talks say the recent measures pursued by China show the country is committed to pursuing an industrial policy that the Trump administration has sought to curb. “Trump could **cry uncle** at any time,” said the source. “But if he’s going to take a deal at this point, it’s probably going to be pretty weak.” — *politico.com*, September 6, 2019

貿易交渉に近い、ある米国の消息筋は、中国が追求する最近の対応策は、トランプ政権が阻止しようと求めてきた中国の産業政策を中国が引き続き追求していくことを示していると述べています。「トランプが今にも譲歩する可能性があるが、もし彼がこの段階で手を打つなら、多分かなり不利な結果となるだろう。」と述べたのです。

【5】店のキャッシュレス支払いで、54%の人がデジタル・チップの追加圧力を感じるという報道

“We are rapidly approaching the day where your mechanic, hygienist or hardware store employee who sold you a hammer will give you the screen to ask for a tip,” Farley says. “It’s so ridiculous — and people are beginning to **cry uncle**. Maybe consumers can bring their own devices and ask for tips for being good customers,” he adds. — *money.usnews.com*, April 18, 2023

(ニューヨークに本拠を置く、エチケット及び顧客サービスの専門家である)Farley氏は、「機械工、衛生士、ハンマーを売った金物商の店員などが、チップを求め端末を差し出す日に、我々は急速に近づいている。それは馬鹿げているし、人々はもうお手上げだと言い始めている。おそらく消費者側でも自分の端末を持ち歩き、善良な顧客であることに対してチップを請求してもよいのでは。」と述べているのです。

3. 子どもとの別れ際の言葉で現れるワニ alligator と crocodile

数ある動物が現れる英語表現のうち、ワニが出てくる See you later, alligator. と、それに応答する

After a while, crocodile. があります。この表現を、河本(2021: 8)は次のように説明しています。

See you later. は「じゃあね」「また会おうね」という意味の、気軽な別れのあいさつです。動物園の飼育係でもないかぎり、ワニにひんぱんに出会うことはないので、この二つの言葉の組み合わせに深い意味はありません。ただ、リズム・語呂がよく、韻を踏んでいるので、聞いていて楽しい表現です。日本語でも、「バイバイキーン」「さよならライオン」「おやすみなサイ」などのいいまわしがありますが、いずれもアニメがもとになっています。それに比べると、See you later, alligator. は、1950年代なかばに、ビル・ヘイリー&ヒズ・コメッツというロックバンドのヒット曲から生まれていて、アメリカでは大人でもよくつかうのです。歌詞では、See you later, alligator. のあとに、In a while, crocodile. とつづきます。この表現も「しばらくしたら」「あとで」という意味の in a while と、大型ワニをあらわす crocodile が韻を踏んでいます。

3-1 子ども言葉として始まった “See you later, alligator.” — “In a while, crocodile.”

この挨拶言葉は、今でも別れ際に子どもと大人の間で親しみを込めて用いられています。

【1】列車事故で両腕を失っていたエチオピアの少年 Abayneh と、彼をリハビリの期間受け入れたホストマザー Traci Grant のやりとり

Every Saturday, he calls home to Ethiopia. The rest of the time, he becomes increasingly connected with the Grant family, who the other night sat around the well-worn kitchen table bantering.

“See you later alligator.”

“After a while crocodile.”

“Not too soon big baboon.” (soon と baboon の押韻)

“When I go back will you give me your home number?” Abayneh asked Traci Grant, who had

just finished offering him a forkful of fruit.

“Yes, we will definitely call you. Every Saturday, right?” she said. He smiled and nodded and headed toward the stairs and bed. Then he stopped and with a proud grin announced: “See you later alliga-dile.” — *seattletimes.com*, December 25, 2009

毎週土曜日、アバイネ君はエチオピアの家に電話をかけます。それ以外の時間では、彼はますますグラント一家との絆を深めていきました。先日の夜も、2人は使い込まれた台所のテーブルを囲んで冗談を言い合っていました。

「じゃあ、まもなくお別れね、アリゲーター。」

「そのうちね、クロコダイル。」

「別れが早く来ないといいね、ビッグ・ヒビ。」

「僕がエチオピアに帰る時、電話番号を教えてください。」と、アバイネは、丁度一口サイズの果物を差し出していたトレーシー・グラントに尋ねました。

「勿論よ、私たちは必ず電話をするわ。毎週土曜日でいい？」とトレーシーは答えました。彼は微笑みうなずき、寝室への階段に向かっていきましたが立ち止まり、勝ち誇ったようにニヤツとして、「じゃあ後でね、アリゲ・ダイル(アリゲーターとクロコダイルの合成).」と声高に応えました。

【2】コロナで閉鎖となった小学校の教職員と保護者たちが、児童たちを励ますために校区をパレードしている場面

About 20 cars filled with teachers and their families drove throughout the neighborhood on the sunny Monday morning, honking their horns as they passed groups of familiar faces. Students stood on the sidewalks shouting greetings and waving signs with sayings like “We love and miss you” and “See you later alligator.” — *azcentral.com*, March 23, 2020

晴れた月曜日の朝、教師とその家族が乗った約20台の車が、なじみの顔の面々に向かってクラクションを鳴らしながら、校区の近所中を走り回りました。児童たちは歩道に立ち、「私たちはあなたたちが大好きよ。寂しい。」や「また会おうね、アリゲーター。」などと書かれたプラカードを掲げ、それを振りながら挨拶を叫んでいました。

【3】休み明けで学校にもどるに際し、精神的に不安定な子どもを落ち着かせる方法の1つ

Make up a special goodbye ritual together. Morning goodbyes can be challenging. But you can create daily memories your child will cherish for years to come. Say, “**See you later, alligator! In a while, crocodile!**”, do a special handshake or enjoy an extra-long hug. — *npr.org*, August 12, 2024

一緒に特別なお別れの儀礼を作り上げます。登校時の別れの言葉は難しいことがあります。あなたの子どもが後々まで心に留めおおくような日常の記憶を創り出すことができます。「じゃあね、アリゲーター！またね、クロコダイル！」と言い合うとか、特別な握手を交わすとか、とても長くハグをし合うなどしてごらん下さい。

3-2 親しみを表す別れの言葉として一般化した See you later, alligator.

この挨拶の言葉は子どもとの間だけでなく、大人同士でも交わされることがあります。

【4】ソ連のゴルバチョフ書記長のライサ夫人についての記事

Raisa will have her fun. And if Soviet public opinion or the exigencies of domestic politics force her to curb her activities at home, she will always be a hit on the road. All she has to do is switch on her strobe-light smile and, as she has so often before, drop one of the handful of phrases she knows in English: “**See you later, alligator.**” — *time.com*, June 6, 1988

ライサ夫人は自分の楽しみ方を持ち合わせているのです。ソ連の世論や国内政治により国内の活動を制限されるとしても、彼女はいつも対外的には大人気なのです。彼女はカメラ向きの微笑みに切り替え、以前もよくしてきたように、知っているいくらかの英語表現のうちの1つ、「ではまたね、アリゲーター。」などで対応するだけでよいのです。

【5】男女の別れ際の挨拶

Mary: “It’s time to go. **See you later, alligator.**”
Ben: “**After a while, crocodile.**” — *american-phrases.blogspot.com*, March 11, 2013

メアリー「もう行く時間だわ。それじゃまたね。」
ベン「またね。」

【6】ある結婚式に家族で出席後、コロナ感染で入院し105歳で死去した母を回想する娘

“I made sure we said ‘I love you.’ She did the ‘**See you later, alligator.**’ I think we both said ‘**After a while, crocodile,**’ Dorene said. “That was the last time I saw her.” Two days later, Primetta was in the emergency room. Her oxygen levels dropped steadily over the next six days until nurses had to put an oxygen mask on her. — *usatoday.com*, September 30, 2021

ドリーンは「その時私たちは確かに『愛している』と言いました。母は『じゃあまた、アリゲーター』と言い、2人とも『後でね、クロコダイル』と言ったと思う。その時が母に会った最後でした。」と言いました。2日後、母ブライメッタは緊急処置室にいました。彼女の酸素濃度は6日間にわたり確実に低下していき、ついに看護師は彼女に酸素マスクをつけなければならなかったのです。

【7】8歳の少年 Zayon の紹介

Zayon. Eight-year-old, 4-foot-7, 80-pound Zayon, who made a mean pitcher of sweet green tea, loved toy soldiers and always raced to say “**See you later, alligator**” before his grandfather did. — *usatoday.com*, January 25, 2023

8歳のザヤン君は、身長4フィート7インチ、体重は80ポンドで、ポット入りの素晴らしい(mean)甘い緑茶を作り、兵隊さんのおもちゃが大好きで、いつも祖父より先に走っていき「じゃあまたね、アリゲーター」と言う子どもでした。

このように動物を後置する別れの挨拶は、その動物自体には意味がなく、音の響きや押韻を楽しむコトバ遊びのようなものです。See you later, alligator. — In a while, crocodile. はネイティブの誰もが知っている別れ際のダジャレ的表現ですが、これ

に類似する主に 10 代の若者の間で用いられる別れ際の挨拶もあります。この言い回しの影響を受け、直前の語の韻を踏む動物を続けています。例えば、Gotta go, buffalo. (ou の韻), Take care, polar bear. (εɪ の韻), See you soon, raccoon. (u:n の韻), Bye-bye, butterfly. (aɪ の韻) などがあります。

4. まとめ

本稿では、子ども言葉が一般化した 2 つの表現を取り上げました。子どものふざけ合いで「参ったか!」という表現 Say Uncle! や Cry uncle! と、別れ際の子どもの言葉「じゃあまたね」という See you later, alligator. が、成人の間で定着していることを用例でご紹介しました。前者は「降参する」を意味し、後者は「ではまたね」を意味する親しい間柄で用いられる別れ際の言葉です。

参考文献

- 河本望(2021). 『どうぶつ英語フレーズ大集合!』
偕成社
- 牧野高吉(2008). 『クイズで覚える英語イディオム
520』東京堂出版
- 牧野高吉(2022). 『直訳してはいけない英語表現
200』河出書房新社

(元兵庫県立高校 教諭)